

岩手県森林公園

# 県民の森だより

2019.

2

Vol.157

発行 岩手県県民の森  
(公益社団法人  
岩手県緑化推進委員会)



2/8 七滝氷瀑

七 滝も完全に氷瀑し、厳しい寒さもピークを迎えています。森では冬眠する動物達もいる中、学習館内で遊ぶ子ども達は館内で思いっきり走りまわって汗をかいて遊んでいます。もちろん、外でスノートレッキングを楽しむ方もたくさんいました。フワフワの新雪の上をスノーシューで歩いてみたり、冬の森の様子を観察してみたりと冬だからこその楽しみ方を皆さん見つけているようです。あっという間に春は訪れます。是非、今のうちに県民の森での楽しみ方を探してみたいかがでしょうか。

岩手県県民の森 管理事務所

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5

TEL. 0195-78-2092 FAX. 0195-71-1778

岩手県県民の森

検索

## 1月5日開催 UV レジン クラフト教室

初開催となる UV レジンを使ったクラフト教室は、手軽に参加出来ることもあり、家族で参加された方がほとんどでした。UV レジンとは、紫外線の光で固まる特殊な液体で、その液を木の枠に流し込みオリジナルのキーホルダーを作りました。皆さんそれぞれのこだわりがあり、どれも素敵な作品ばかりでした。短時間でクオリティの高いキーホルダーが作れ、子ども達はとても嬉しそうでした。



## 2月3日開催 自然観察会 七滝氷瀑ツアー

多くの方が訪れる程大人気な、七滝が氷った姿を見に行く七滝氷瀑ツアーが開催されました。

今回の参加者は初めて七滝に行かれる方が多く、たどり着くまでとても楽しみにしていた様子でした。この日は、風も無く道の積雪も少なかったため、比較的歩きやすいツアーになったと思います。到着後は滝壺まで下りて、氷瀑の時しか見られない、真下からの迫力ある七滝を観察し、楽しみました。



## 段ボール遊具が仲間入り!!

大人気だった『わくわく★こども広場』が終わり、多目的ホールも元通りになりました。撤去する途中で、折角だからもっと楽しんでもらいたい!とスタッフは思い、館内のエントランスにすべり台を、展示ホールの木の家の中にキッチンセットとお店屋さんを設置しました。早速、大きいすべり台では遊べない小さい子がすべり台で遊んだり、家族でお店屋さんごっこをしたりなど、たくさん遊んでくれています。是非、皆さんも遊んでみて下さい。



わくわく★こども広場から



館内へ!

# ～雪上観察をする方へ～

積雪のある野山で、安全・快適に観察を行うためには、相応の装備が必要となります。

今回は、冬に散策する際に知っておくと安心な注意点を紹介します。

服装

道具

救急用品

食糧



## ＜様々な気象条件に対応する＞

### ◎強い風・吹雪

風がない時（気温が同じでも）と風が強く吹き荒れる時とでは体感温度が違います。できるだけ、風を通さないウェアを着用しましょう。



### ◎晴天・日差しが強い

晴れているからと、油断は禁物！雪の上を歩いている時は、かなりの運動量になるため、汗をかきます。しかし、立ち止まって観察をしていると一気に体温は下がります。この体温の差を装備でいかにカバーできるかが、ポイントになってきます。インナーは、吸湿性が低く、保温性が高いものを。ジッパーなどが付いていて、部分的に換気できると◎。



### ◎降雪・みぞれ

降る雪質にも状態は様々で、湿って重いみぞれのような雪であれば、ウェアが濡れないように、防水性のあるものを選んだ方が良いでしょう。



＼ 備えあれば憂いなし！ ／

## こんな物も持っているとう安心♪

### ①行動食

エネルギー不足によって、体の熱を作る働きが不十分になり、体温を保つことが出来なくなります。そうならない為にも、行動中からエネルギー源（糖分）を少しずつ補給する事が重要になります。血糖値を下げないように糖分のある温かい飲み物や、おやつなどで対応しましょう。



### ②冬山の専用靴

足先は最も凍傷になりやすい部位です。冬用の靴は保温性を上げるために厚みがあり、裏地が起毛になっていたりします。冬山用の靴が無く、長靴などで行く場合は、厚手の靴下を履くか、2枚重ねて履きましょう。また汗をかいた時のために予備を1枚持っていて安心です。



## スノーシューについて

基本的に、県民の森では七滝登山コースを歩いて行かれる方には、スノーシューを履いてもらう事をお願いしています。理由として、ツボ足（スノーシューを履かない）で行った際に、コース上に穴があいてしまうと、その後にスノーシューを履いて歩いて行く方が転んでしまい、ケガを負う危険もあります。なので、安全の為にスノーシューを履くことをお勧めしています。



スノーシューレンタル  
¥1,000（1日）



今回紹介する植物は、この時期葉の落ちた木の枝に茂っているのを目にする『ヤドリギ』という常緑低木です。

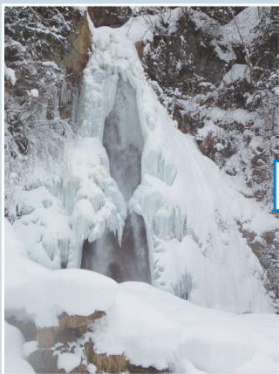
ヤドリギ（寄生木・宿木）の名の通り、他の樹木に寄生しながら育ちます。正確には半寄生植物で、樹木から水分・養分をもらいはそのものの、自分でも光合成をします。寄生する宿主の枝に深く枝を食い込ませています。

どのように樹木から発芽するかというと、ヤドリギの果実は中に種子が入っており、種の周りは粘着性のある果肉に包まれています。その果実を食べた鳥は、粘着力を消化しないまま排泄します。しかし、粘着力が強いため中々お尻から離れていけないので、仕方なくとまった木の枝に擦りつけて落とすのです。そこからヤドリギは発芽するという仕組みです。なんとも、賢い繁殖方法をする樹木です。見つけた際には果実を観察してみてください。



## 七滝氷瀑の様子

例年に比べ、少し早く感じた七滝の氷瀑。七滝を訪れた方から提供して頂いた写真で七滝が氷瀑する工程が見られました。



1月6日(日)

両端から徐々に氷り始める



1月14日(月)

全て繋がったがまだ滝が流れる様子が見える



1月26日(土)

完全に氷瀑氷の中では水が流れている



こんなに間近で滝が見られるのも氷瀑の時期だからこそ！

## 県民の森 行事案内

◆木工教室 肘掛けイス 平成31年3月10日(日) 9時00分～15時30分

参加費：10,000円(着色料別途1,000円)  
集合場所：県民の森 木材工芸センター  
持ち物：昼食・飲み物 など  
※作業しやすい服装でお越しください



定員 10名

※各種行事は全て予約制。定員になり次第締め切りとなります。